

中間報告用

令和4年度 総社市市民提案型事業用

対話型担い手創出事業

そうじゃチャレンジラボ KUWADATE



MONJUnoCHIE

SINCE 2020

令和4年10月19日

理想像・ビジョン

担い手潜在層の「駆け込み寺」となるプラットフォームを形成し、
市民が主体的に活動を行える自治体になることを目指す

小さなチャレンジが
できるヒトを発掘

総社で想いを持った
ヒトとヒトをつなぐ

1人のカリスマリーダーではなく

週末掛け持ちヒーローとともに

市民活動の 担い手の輪 を広げていく

受講生のゴールイメージ

異なるスタートライン・バックグラウンド



身近にある課題について
自分なりの想いを言葉にできた



同期やゲストの活動を
応援していこうと思っている



いままで無関係だと思っていた
活動に参画しようと考えている



自分で活動を起こしたい
と考えている

関係人口としての担い手

実施主体としての担い手

こんなことをしました！

7/28(木)・29(金) 13時～17時、7/30(土)・31(日) 9時～12時

オープナーとして無料相談会を実施@FLCB

→計10名が参加。うち5名が受講決定。

【受講生内訳】

性別：男性1名、女性4名

業種：金融機関、医療、食品店、

環境系企業会社員、自営業

年齢層：20代1名、30代3名、40代1名



こんなことをしました！

【主な受講の理由】

- 総社市で起業を考えている
- 就職による生活環境の変化により、やってみたいことがたくさんある中で、ワークライフバランス(心と体のバランス)がうまく取れず、自分と向き合いながら、ほんとうに自分のやりたいことってなんだっけ？を誰かに聞いてもらいながら、一緒にやっていく仲間とか相談できる人がいて、無理せずに、一歩ずつ前に進みたいなあって思っているから。
- 地域でやってみたいことのきっかけが見つかると思ったから。

▶ **こういった担い手潜在層を受け止めている場が少ない**

こんなことをしました！

8/28(日) 9時~12時

第1回講座を開催 @ S-スタ

自己紹介、自分が解決したい生活の中で感じる課題などについて話し合った。



こんなことを頑張っている・忙しい		
内閣取り組んでいる内容 がわかること	ここに力を入れている 人がこんな頑張っている	これがしなくて大変 なところがある
--	--	--
--	--	--
17の分野に番号を付ける と書いて...		
(例) 私の〇〇な話、〇〇大作戦、〇〇な〇〇さん、私の思う〇〇、などご自由に		

こんなことをしました！

9/25(日) 9時～12時

第2回講座を開催 @ 学塾 誠和学舎

第1回で検討した課題と自らとの関わり、接点を言語化し、自分が取り組みたいこと、取り組むべきことを整理した。



私の好きなこと・できること・求められていること

好きなこと

ここでは、自分自身が好きだと思うこと (will)、平穩にやっていて楽しいと思うこと (like) を書き出してみよう。

できること

ここでは、あなたの得意なことを書き出して見よう (can)。自身のこれまでの経験で得た能力や専門分野があればいい。または、あなたが役に立てること (can help) がいい切り口で書いてもいいです。

ここに、3つの要素が全て満たされることを書いてみてください。キャッチフレーズになると、なお良いです。

求められていること

※ここでは、高辺から期待されていること (expected) または自分自身でなければならぬと思っていること (must) を書き出してみよう。

書き方

こんなことをしました！

今年度は、第1期受講生3名が実行委員として企画運営に関わり、第2期受講生の活動のサポートしつつ、昨年度発表したマイプランについて実現に向けて検討を進めている。



今後の取り組みについて

- **10/16(日)：実行委員による交流企画**

事業実施者ではなく、昨年度同じように講座を受講した人同士で、現在講座で困っていることや、引っかかっている点などを会話、整理していく機会とする。

- **11/20(日)：第3回講座@会場未定**

- **12月：実行委員による交流企画及び他地域での実践者との交流**

- **1/22(日)：第4回講座@FLCB ※最終発表会 招待者のみ観覧可能**

- **随時：講座での不十分な点について個別フォローアップ**

これまで3名に各1時間ずつ実施。現在の段階で悩んでいることや、自らの内面を振り返るような面談となっている)

これまでの感想

- 昨年度は受講生募集を、田中輝美氏という地域づくりのパイオニアの講演会という形で大きく募ったが、今年度は無料相談会というざくばらんに話す会として設けたことで、対話しながら自分の興味関心や生活課題について考えるという講座の趣旨に興味を持ってくださる方が受講してくれていて、とても前向きに講座や各企画に参加してくれている。
- 実行委員が企画に関わることで、どのような流れで進行すれば受講生が話しやすい、思考しやすいかななどの建設的な意見が反映された講座となっている。また弊団体も別に本業を持つての事業運営となっているため、講座運営の際の人手としても大変助かっている。
- 講座募集期間や周知の方法が満足にできていなかったため、オープンデー参加者の人数が多くなかったことは課題である。

市民、地域団体との協働

- 昨年度より助成金額が少なくなっていることを踏まえ、立地が良く地域に根差しているFLCB・S-スタという地域拠点を利用させてもらっている。
 - 総社市民でデザイナーとして活動している塩津みゆき氏にチラシデザインを委託した。
 - 総社市内でSNSコンサルタント、インフルエンサーとして活動されている藤田明日香氏に広報の支援をいただいた。
- ▶ **受講生だけでない担い手の活躍の場も提供したい**

行政に期待すること

- 市役所の職員の方だけでなく、審査員のみなさまにも、ぜひ発表会を見学に来ていただき、総社市や地域の為に活動しようと想いを持っている市民とつながりを持っていただきたいと思います。
- 受講生の中で、我々と同様に市民提案型事業に興味があるとの声もあるため、採択を受けてからまた助成終了後の事業推進のサポート体制を明確にしていただければご案内がしやすいです。併せて、本講座の受講生及び運営者は企業勤めが多いこともあり、説明会や報告会など、参加が必須の項目について土日やリモートでの開催なども検討していただきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました